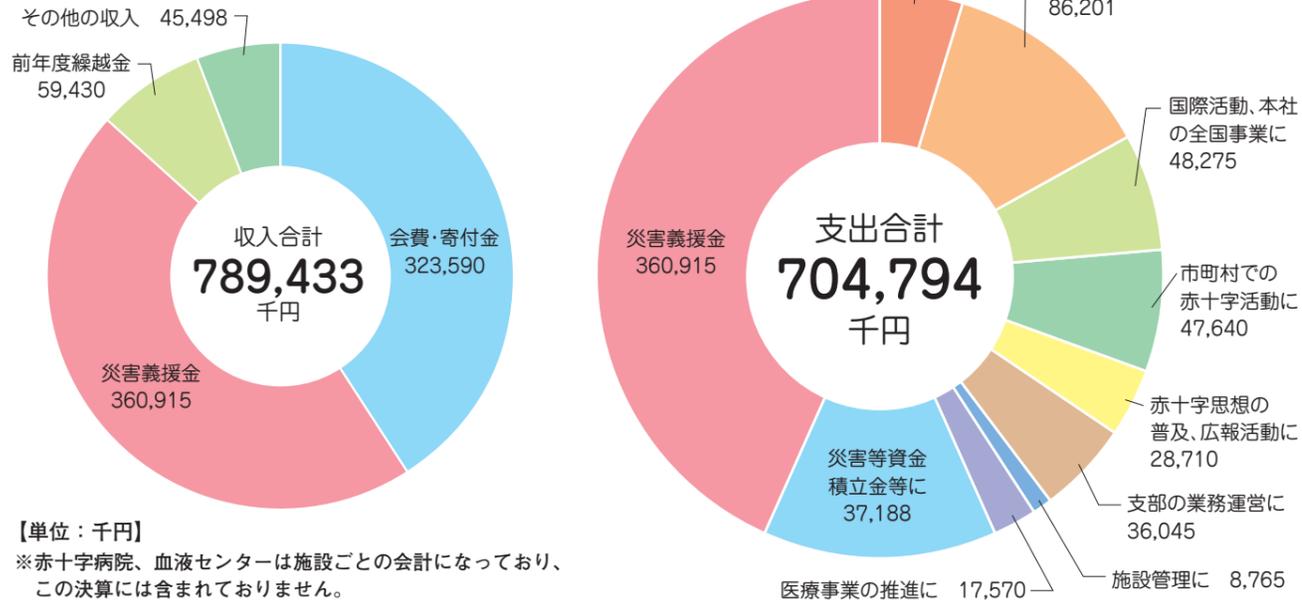


日本赤十字社福島県支部 令和2年度決算報告

活動資金にご支援をいただきました皆さまに、改めて感謝申し上げます。



～あなたの思いを赤十字へ～

日本赤十字社は、国や県からの補助金等を受けずに、ご寄付いただいた活動資金で組織を運営し、事業を行っております。

赤十字へのご寄付には税制上の優遇措置があるほか、表彰制度を設けております。

また、遺贈・相続財産のご寄付も承っております。ご案内パンフレットをお送りしておりますので、ご希望の方は下記の組織振興課までお問い合わせください。

遺贈、相続財産寄付ご案内パンフレット

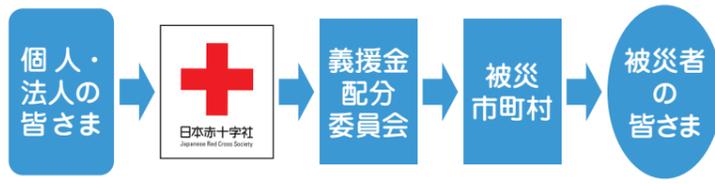


義援金の受付を行っています

- 平成30年7月豪雨災害義援金
 - 令和2年7月豪雨災害義援金
 - 令和3年8月大雨災害義援金
 - 令和3年長野県茅野市土石流災害義援金
- ※令和4年1月現在

詳しくはホームページをご覧ください

「義援金」の流れ



日本赤十字社にお寄せいただいた「義援金」は、被災都道府県に設置される義援金配分委員会に全額送金し、同委員会が定める配分基準に従って被災された皆さまへ届けられます。

何が違うの？

- 活動資金…日赤が行う人道活動のために使われます。
災害で被災した方への医療救護活動や救援物資のほか、防災教育や青少年赤十字（JRC）、救急法の講習などは、活動資金をもとに行われます。
- 義援金…全額被災者に届けられます。
被災都道府県に設置される「義援金配分委員会」に全額を送金し、配分基準に従って被災者へ届けられます。国や自治体が行う復旧事業や、日赤の活動には一切使われません。

日本赤十字社 福島県支部
Japanese Red Cross Society 〒960-1197 福島市永井川字北原田17
https://www.jrc.or.jp/chapter/fukushima

《お問い合わせ先》
平日9:00～17:30

- 組織振興課 TEL 024-545-7998…寄付・ボランティア・青少年赤十字について
- 事業推進課 TEL 024-545-7996…講習会・災害救護について
- 総務課 TEL 024-545-7997

Instagram
やってます！



日赤ふくしま



新型コロナウイルス感染症に対する赤十字のアクション

日本赤十字社では「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、全国の赤十字施設を挙げて対応に当たっています。

クルーズ船やクラスター発生施設等への赤十字救護班やDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣にはじまり、全国に91ある赤十字病院においては、外来18万8,878名、入院1万9,375名（令和3年11月14日時点）の感染者を受け入れました。ワクチン接種に対しても1万5,000人を超える職員を派遣するなど、これからも皆さまの「いのちと健康を守る」ための活動を続けてまいります。



救いを託されている。

日本赤十字社 福島県支部
Japanese Red Cross Society

福島赤十字病院の新型コロナウイルス感染症への取り組み

福島赤十字病院は、第二種感染症指定医療機関として、令和2年2月15日から陽性者の受け入れを開始しました。

感染拡大時期においては県外からも受け入れ、370例（令和3年11月現在）に上る感染患者の受け入れを行っております。

また、令和2年11月には屋外に発熱外来を設置し、令和3年3月からは院内でワクチン接種を実施するなど、様々な側面から、医療職のみならず病院一丸となって対応しております。

赤十字病院職員の3回目のワクチン接種



ビニールカーテンでゾーニングされた病棟で、感染防護を徹底し看護に当たります

看護師の声

医療物品が不足する中、地域の皆さまから防護ガウン、フェイスシールド、マスク等のご寄付をいただいたおかげで、職員が安心して継続した医療を提供することができました。本当にありがとうございました。

保健所等からの入院要請患者様の対応を医師、病棟師長と共に決定した上で、病院から入院準備等の説明のためご本人へ連絡をするのですが、その際に「気を付けて生活していたのに、これから自分はどうなるのだろう」と不安な声をよく耳にします。患者様一人ひとりが不安な気持ちの中、安心して入院の準備が進められるように丁寧にわかりやすく説明することを心がけています。

入院時に「先ほど連絡し説明させていただいた者です」と声掛けした際に、緊張した患者様の表情が和らいだ時、ほんの一場面ではありますが寄り添いの看護ができたのではないかと感じます。今後も患者様が安心して入院、治療を受けられるようお手伝いさせていただきたいと思っております。

（感染管理室 吉田和恵）

福島県支部における新型コロナウイルス感染症対応

数字で見ると

- クルーズ船への職員派遣 延べ16名
- 県感染症対策本部等への職員派遣 延べ58名
- 北海道旭川市への職員派遣 1名
- 病院：入院患者数 370名
- 病院：発熱外来（R2.11～R3.10） 267件
- 病院：ワクチン接種（R3.3～9） 5,879回



福島県新型コロナウイルス感染症対策本部からの要請により、支部職員が保健所等で支援業務を行いました

県内赤十字奉仕団・青少年赤十字（JRC）など組織を挙げて対応しています



ワクチン接種会場でのボランティア（三春町赤十字奉仕団）



防護ガウンの贈呈（磐城第一高校・日赤福島ボランティア会）

献血にご協力を～コロナ禍、厳しい献血者確保～

献血は不要不急の外出にはあたらないうち！



年間を通して安定的に血液を届けるために、皆さまのご協力をお待ちしております。献血会場の確認は血液センターのホームページでチェックできます♪詳しくはこちら→

お問合せ：福島県赤十字血液センター ☎024-544-2552



血液センターHP

赤十字が行う活動は、皆さまから寄せいただいた活動資金とボランティアで支えられています。皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。今後も災害救護をはじめ赤十字活動の充実に努めます。

県内各地で防災セミナーや防災教室を実施しています

東日本大震災から10年が経過しました。震災を経験していない子どもたちが、災害から「大切な命」を守るための考え方や行動の仕方などを学ぶ防災教室を県内各地で行っております。

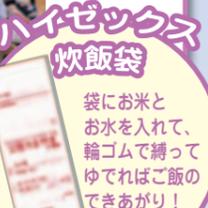
様々なカリキュラムをご用意し、学校への派遣のほか、要請に応じて地域の行事などへ指導者を派遣しております。



災害が起きた時、家まで無事に帰れるかな？「いえまですごろく」



炊飯用のポリ袋でごはんを炊いてみよう！



袋にお米とお水を入れて、輪ゴムで縛ってゆてればご飯のできあがり！

日本赤十字社第2ブロック支部総合訓練

～1都9県の赤十字救護班が集結し、コロナ禍の大地震を想定した救護訓練を実施しました～

令和3年11月20日（土）、栃木県宇都宮市のとちぎ福祉プラザを会場に、日本赤十字社第2ブロック支部総合訓練が開催され、隣県支部として当支部の救護班も参加しました。日赤本社・日赤第2ブロック支部（関東・山梨・新潟の9都県支部）と当支部救護班の13班のほか、栃木県や宇都宮市の関係職員も参加した大規模な訓練となりました。訓練は、コロナ禍での大地震発生を想定し、避難所のアセスメント（状況調査）や巡回診療、こころのケアなどの実災害に即した内容で行われました。日本赤十字社は、人々のいのちと健康を守るため日頃から災害に備えております。



対策本部設置・運営訓練



避難所の巡回診療訓練



「正常性バイアス」って聞いたことありますか？逃げ遅れの原因となる、心のフィルターです。ちょっとホラーなアニメですが、いざという時の備えになります。ぜひご覧ください。

“不安が見えなくなるメガネ” YouTubeにて公開中！

